

## 情報価値論 連続講義

1月17日(木) 3, 4, 5限: 土谷講師

→第1演習室(経済学部1階: 50人収容可)

1月24日(木) 3, 4, 5限: 北川講師

→第1演習室(経済学部1階: 50人収容可)

1月25日(金) 2, 3, 4限: 池上講師

→第16演習室(経済学部1階: 30人収容可)

1月29日(火) 3, 4, 5限: 樋口講師

→第1演習室(経済学部1階: 50人収容可)

12月14日(金) 2, 3, 4限: 照井伸彦

ベイズモデリングによる情報分析: 事前情報とデータ情報を融合させて情報の価値を高める仕組みとしてのベイズ統計モデリングの考え方について講義する。

1月17日(木) 3, 4, 5限: 土谷隆講師(統計数理研究所・教授)

顧客が必要としているサービスを適切に把握し、効率的なサービスを提供するためには、現状を解析して動向を予測するための統計的モデリング、さらに、サービスの効率的運用を行うためのシステム最適化が重要である。本講義ではこれらの点に重点を置いて、情報管理のための数理的技術とその現状を概観する。また、情報量規準、ベイズ推論、線形計画法、整数計画法など後続の授業で必要となる基礎的知識について説明する。

1月24日(木) 3, 4, 5限: 北川源四郎講師(統計数理研究所・教授)

経済現象解析のための時系列モデリング: マクロ経済, ファイナンス, マーケティングなどに関連する経済現象は様々な非定常性を含み, 既存のモデルの適用だけでは有益な情報が得られないことが多い。本講義では, 季節調整法やマーケティングなどの時系列を題材に, さまざまな知識を事前情報の形で取り込みながら柔軟なモデリングを実現する方法について解説する。とくに, 状態空間モデリングによるモデルの表現や, 予測や情報抽出などの方法について説明する。

1月25日(金) 2, 3, 4限: 池上敦子講師(成蹊大学・准教授)

数理計画(最適化)の視点で, 情報を考える。数理計画は, 与えられた制約の下で, 問題の目的を最大限に達成できるような『意思決定』を支援するものである。意思決定のための情報は, 制約として与えられる場合もあれば, 目的に影響するものとして与えられる場

合もあり，問題の実行可能領域や解の評価を大きく変化させる．講義では，ナーススケジューリング等，勤務表作成を例にとり，数理計画問題と情報の関係について考える．

1月29日（火）3，4，5限： 樋口知之講師（統計数理研究所・教授）  
マイクロマーケティングへの統計科学からの接近：各個人の嗜好が多様化・細分化された現代において，従来のマーケティング戦略（マスマーケティング）の行き詰まりを打破すべく，これからのマーケティング戦略の鍵となるのが，“個”に焦点をあてたマイクロマーケティングである．統計科学のマーケティング分野への応用を通じて，“統計”という言葉が普通喚起するマクロ的情報抽出法のためのイメージを統計科学からぬぐい去り，現代統計科学が持つ柔軟な対象表現能力---高度化されたモデリング機能---を用いれば，“個”からの情報抽出も統計科学は得意であることを具体的事例に基づいて解説する。